



# 職場の安全衛生に関する基準

# 目的

Reckitt の成功を支える中心にいるのは人材です。ですから、サプライチェーン全体で安全で健康的な職場環境を維持することにコミットしています。Reckitt は、当社のビジネス パートナーが、すべての労働者の健康、安全、福利を保護し、職場での福利厚生を強化するプログラムを奨励し、従業員の参加と安全に関する行動面に焦点を当て、より健康的で、より幸せで、より安全な職場を作ることを目指すよう期待しています。

この基準は「持続可能な成長のための調達に関する Reckitt の方針の原則 III」、すなわち、安全で健康的な職場環境を提供するという **Reckitt のコミットメントをどのように実施するかを規定するものです。**

ここでは、- 効果的な H&S 管理システムを構築するための構造化されたアプローチを含めて - 長期的に持続可能な開発と、社会にプラスの影響を与える製造という当社の目的に貢献することなど、職場の健康と安全 (H&S) に関連して **Reckitt** のサプライチェーンに期待される要件と慣行について説明します。



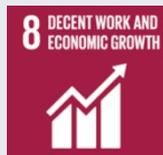
## 法律および業界関連の参考資料

これらの要件は、以下を考慮して起草されています：

1. ILO 第 155 号条約 - 1981 年の労働安全衛生条約
2. ILO 勧告 R164 - 労働安全衛生勧告、1981 年
3. ILO 勧告 R097 - 労働者の健康保護勧告、1953 年
4. ILO 勧告 R118 - 機械の防護
5. ILO 170 化学物質条約、1990 年
6. ILO 勧告 R115 - 労働者住宅勧告、1961 年
7. ISO 45001 労働安全衛生管理（2021 年に BS OHSAS 18001 に置き換え）
8. 倫理的貿易イニシアチブ (ETI) 基本規範 (Ethical Trading Initiative (ETI) Base Code) をなど、業界標準および慣行。

## 持続可能な開発目標 (SDG) の参考資料

RECKITT は、2030 年までの国連の持続可能な開発目標 (SDG) の実現を全面的に支援します



当社のビジネスとブランドは、いくつかの持続可能な開発目標 (SDG) にプラスの影響を与えています。しかし、この基準を通じて、1つの目標に最大の影響を与えることができると考えています。

Reckitt は、また、ビジネスパートナーが存在する地域に関連し、ビジネスを通じて最大の影響を与えることができる持続可能な開発目標 (SDG) に貢献するための措置を講じることをビジネスパートナーに奨励しています。



## 要件

Reckitt は、すべてのビジネスパートナーが、安全で健康的な職場環境を作り、業務における危険とリスクを排除することを期待しています。Reckitt は、ビジネスパートナーが、H&S 管理のパフォーマンスを継続的に改善することを支援し、奨励します。これには、事故、病気、怪我の防止、行動に基づく安全文化の促進が含まれますが、これらに限定されません。

「持続可能な成長のため調達に関する方針の Reckitt の原則 II」を尊重し、安全で健康的な職場環境を提供するための Reckitt のコミットメントでは、以下が求められます：

1. 適用されるすべての法律、規制、必要な法的許可の維持、国際労働者の権利基準の遵守。
2. 法令遵守、健康で安全な職場環境の提供、継続的な改善文化を確保するための上級管理職が承認した労働安全衛生（H&S）方針、リスクアセスメント、管理システム。
3. 安全衛生方針（H&S）方針と手順の理解、効果的な実施、遵守を確実にするための定期的なトレーニングの実施とその周知。
4. すべての従業員と訪問者は、固有の H&S リスクについて知らされ、これらのリスクを回避するための知識と個人用保護具が無料で提供されること。
5. 従業員のフィードバックや懸念事項を含め、職場の安全性を継続的に改善するためのプログラムを実施し、より広範な持続可能な開発に貢献すること。
6. 会社が提供する宿泊施設がある場合、清潔かつ安全で、適用される法律/規制を遵守し、基本的なニーズを満たしていること。
7. 安全な飲料水、衛生設備、衛生施設の提供がされていること。
8. 労働者やその他の人々が懸念を提起するための苦情処理メカニズムの規定、および提起された懸念に応じて対応すること（必要に応じて救済措置に同意することを含む）。
9. 特定された影響と実施または提案された措置の透明性。
10. これらの要件をサプライヤーに積極的に伝達し、可能な限りコンプライアンスを積極的に監視すること。
11. ビジネスおよび地域の状況に関連する持続可能な開発目標（SDG）の特定、特定されたものにプラスの影響を与える取り組みの実施。

## リスク評価

労働者の健康と安全に対するリスクと危険性事前に特定するために、職場の全業務を対象とした有資格者による定期的な包括的リスク評価<sup>1</sup>を実施します。

特定されたリスクに基づいて、経営陣は、労働条件が適切な保護を提供することを保証するための対策を確立する必要があります。対策には、以下に挙げるトピックを含める必要がありますが、これらに限定されません（該当する場合）。



<sup>1</sup>ILO - 職場のリスク評価の実施に関する雇用主、労働者、およびその代表者のための5ステップガイド<sup>5</sup>

# 安全衛生の

## 管理体制

ビジネスパートナーは、安全衛生（H&S）管理システムを開発および導入して、職場の安全を特定、軽減、監視し、労働者へのリスクを排除するための十分な措置を講じることが期待されます。安全衛生（H&S）管理システムは、ビジネスコンテキストに適したものであり、従業員全体をカバーする必要があります。システムは、次のフレームワークに従う必要があります：

1. 方針と手順
2. ガバナンスと説明責任
3. サイトの検査と監視
4. トレーニングと意識向上
5. リスク評価

ビジネスパートナーは、H&S パフォーマンスの定期的な評価を行うことにより、継続的な改善を示すことも求められます：管理システムの有効性のレビューの実施、必要に応じて手順をタイムリーに改善することなど。

以下にリストされている管理タスクは、ビジネスパートナーの安全衛生（H&S）管理システムに対する Reckitt の要件の包括的なリストですが、すべてを網羅しているわけではありません。これらは、法的要件を補完するものであり、法的要件を置き換えたり優先したりすることを意図したものではありません。



### 1. 方針と手順

- ビジネスパートナーは、労働者および経営陣と協議の上、自らの業務と安全衛生（H&S）リスクに沿った、明確かつ効果的な安全衛生（H&S）方針を作成、公表、維持しなければなりません。この方針には、自らの権限範囲内で危険の影響を防止または軽減する意図が明確に記載されているものとします。
- 方針では、少なくとも、この基準に記載されているテーマ別要件に対処する関連手順を確立する必要があります。



### 2. ガバナンスと説明責任

- 各職場には、安全衛生（H&S）リスクを管理するための正式な組織構造が必要であり、各レベルで明確な役割と責任があります。その内容は適切な経路（すなわち、書面または口頭を問わず、契約労働者を含むすべての労働者が理解できる言語および/または画像で、労働者が利用可能で理解可能な形式）ですべての従業員に周知されなくてはなりません。周知では、現場の全員が安全衛生（H&S）の責任を負っていることを明確に述べる必要があります。
- 職場での安全衛生（H&S）の説明責任は、現場のリーダーまたは上級管理職が持つことをお勧めします。
- すべての事件と事故は報告され、監視され、フォローアップされるものとします。得られた教訓と傾向が収集され、継続的な改善イニシアチブが通知されるものとします。



### 3. サイトの検査と監視

- ビジネスパートナーは、特定されたりリスクを軽減し、人、操作、機器、財産の安全を確保するために、すべての運用サイトで効果的かつ効率的な管理を実施する必要があります。
- ビジネスパートナーの管理下にあるすべての機器、工具、機械、個人用保護具 (PPE) や作業場は、関連する規制、要件、実施基準に従って、有資格が適切な間隔で定期検査を実施する必要があります。
- サイトの安全衛生 (H&S) 管理システム全体を監視するためには、サードパーティ監査または内部監査を通じて、有資格者による定期的な評価を実施する必要があります。



### 4. トレーニングと意識向上

- すべての従業員には、職務の要件に沿って、また現地の法律で義務付けられているとおりに、安全導入、緊急時への備え、応急処置、必須の個人用防護具 (PPE) の使用などのトレーニングを提供する必要があります。このようなトレーニングは、新規、一時的、契約、再割り当てされた担当者にも提供され、定期的に更新されなければなりません。トレーニングは、従業員のニーズ/要件に合わせて調整する必要があります。
- すべての職場では、H&S トレーニング手順を整備し、記録を維持して、提供されるトレーニングの効果を確保するために、労働者、訪問者、その他のパートナー間の能力の向上を追跡する必要があります。

## テーマ別要件

上記の安全衛生 (H&S) 管理システムは、少なくとも次の領域に対応する必要があります：

#### 1. 安全な作業環境



##### 一般福祉<sup>2</sup>

建物の安全性、飲料水の提供、衛生設備、適切な換気、適切な照明、温度を確保する。ビジネスパートナーは、次の手順を実行することにより、サイトで安全な水、トイレ、衛生 (WASH) へのアクセスを確保すること：

- 事業を行う国で、水の消費量、トイレと衛生慣行に関する基準条件を確立する。
- 自己評価を行い、自分の業務の現状を把握する。
- 会社の業績と主要な慣行との間のギャップを特定し、重点分野に優先順位を付ける。
- ギャップ特定プロセスで特定された問題に対処するための改善計画を策定し、実施する。
- 進捗状況を監視し、開示し、関連する利害関係者に周知する。

<sup>2</sup> ILO 勧告 R097 - 労働者の健康保護に関する勧告、1953 年

## 水、トイレ、衛生 (WASH) リソース：



衛生施設と飲料水の前進：  
2017年最新データと持続可能な開発目標 (SDGs) 基準 (原題：Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene: 2017 Update and Sustainable Development Goal Baselines)



UN-Water 衛生と飲料水の世界的な分析と評 (原題：UN-Water Global Analysis and Assessment of Sanitation and Drinking Water)



水の使用とストレスに関するデータ - 優先順位を決定する



## 労働健康衛生

特定の役割を担っている労働者の医学的評価。産業衛生; 生物学的 (レジオネラ/大腸菌)、化学的 (ほこり/煙/蒸気)、物理的 (騒音と人間工学) の危険への労働者の曝露の評価と監視。



## 労働安全

機械の保護<sup>3</sup>、化学物質の安全<sup>4</sup>、電気の安全、火災や爆発などの緊急事態の防止、個人用保護具 (PPE)、輸送の安全。



## 緊急時の対応

自然または人為的な緊急事態に、現地の法律や施設の要求事項に沿って対応すること。緊急時の計画や手順、訓練や避難計画、非常口、火災探知機や消火システム、応急処置の手順<sup>5</sup>、必要な設備が整備され、定期的にテストされていること。

## 2. 従業員宿舍<sup>6</sup>

- 従業員が宿泊施設に出入りできる時間帯を制限してはならない。従業員は、自由に移動できること。
- 雇用を終了する場合、会社が提供する宿泊施設の賃貸または占有の終了に関して、国内法および慣習、ならびに国際基準すること。
- 宿泊施設は、家賃または宿泊施設の購入に対する支払いのいずれであっても、労働者の収入の合理的な割合を超えて費用をかけてはならない。
- 宿泊施設は、合理的なレベルのプライバシー、衛生、衛生、および快適さを備えた構造的に安全であり、地域の最低住宅基準に準拠していること。
- さらに、次の最小要件が十分に満たされている必要があります。
  - 宿泊施設は、工場の建物、生産、および/または倉庫エリアから離れていること。
  - プライバシーを尊重するために、男性用と女性用の住居は分離されていること。
  - 労働者とその財産を保護するために、適切なセキュリティ対策が講じられていること。
  - 現地の法律に従って、1人あたり十分なスペースが提供されること (現地の法律がない場合、十分なスペースとは、従業員1人あたりに割り当てられる最小面積が1.8平方メートル (20フィート<sup>2</sup>) 以上であること)。これには、寝室と利用可能な空間、ロッカー/更衣室が含まれる。規則に別段の定めがない場合、労働者には少なくとも0.03 m<sup>3</sup> (1フィート<sup>3</sup>) の安全なロッカー/保管スペース。

<sup>3</sup> ILO R118: 機械の防護

<sup>4</sup> ILO 化学物質条約、1990年 (第170号)

<sup>5</sup> ILO - 緊急時の対応と応急処置

<sup>6</sup> ILO 勧告 R115 - 労働者の住居に関する勧告 (1961年) (No.115)

スが提供され、労働者だけがアクセスする権利があること。各労働者は、自分のベッド、マットレス、施錠可能なロッカーを用意する。

- 安全な飲料水が供給され、有資格のサードパーティのラボによって定期的にテストされていること。
- 適切な下水と廃棄物処理を含め、適切な衛生施設と洗浄施設が利用可能でであること。
- 安全な光源を備えた十分な換気、暖房、調理、洗濯、保管施設の提供。
- 適切なレクリエーションおよび食事施設を提供し、それらは、休息を妨げないように寝エリアから離れた場所に配置すること。
- 照明、ファン、ヒーター、プラグソケット、パネルなどの電気機器を安全に設置して、火災のリスクを最小限に抑えること。
- 消火器、非常口、標識、救急箱などの非常用設備の定期的なメンテナンスと点検。
- 宿泊規則は、すべての従業員が見に行きやす居場所に明確に表示されること。

## 違反の報告

当社は、責任と誠実さを強く重視する組織であり、常に正しいことをしようと努めています。それは、複雑なグローバルサプライチェーンにおける問題へのチャレンジであり、多くのチャレンジが本質的に体系的であり、単独で対処できないことを理解しています。ですから、ビジネスパートナーがこの基準を満たす上でチャレンジを抱えている箇所を積極的に開示されるようお勧めします。これにより、問題に対処し、管理システムを強化して継続的な改善を確保するために協力することができます。



## 範囲

この基準は、Reckitt に、または Reckitt に代わって商品およびサービスを提供するすべてのビジネスパートナーに適用されます。これには、サードパーティの製造業者、原料や包装材料のサプライヤー、サービスプロバイダー、ベンダー、トレーダー、代理店、請負業者、ジョイントベンチャーパートナー、販売代理店(従業員、代理店、その他の代表者を含む)(以下「ビジネスパートナー」と呼びます)が含まれます。ビジネスパートナーは、サプライチェーン内でこの基準を伝達し、直接のサプライヤーがこの基準を遵守していることを確認することが期待されます。